

DIALOG(R)File 351:DERWENT WPI
(c)1996 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

010965165 WPI Acc No: 96-462114/46

XRPX Acc No: N96-389378 *Image available*

Elevating device for venetian blind - has deceleration mechanism which decelerates rotating shaft when bottom rail is rolled up by withdrawal cord and when blind descends through brake spring

Patent Assignee: (TOYU) TOSO KK

Number of Patents: 001

Number of Countries: 001

Patent Family:

CC Number	Kind	Date	Week
<u>JP 8232559</u>	A	960910	9646 (Basic)

Priority Data (CC No Date): JP 9535543 (950223)

Abstract (Basic): JP 08232559 A

The device has a rotating shaft (5) supported in a longitudinal direction with a box (1). Several elevation cords (10, 11) are wrap to several winding drums (8, 9) installed on a winding drum bearing (7). A withdrawal cord (14) is wrap around a withdrawal cord winding drum (12) which suspends at the edge of the box.

A brake spring (15) resist tensile force of the withdrawal cord by tare weight when a bottom rail and several slat is rolled up. A deceleration mechanism (17) reduces rotation of rotating shaft when blind descends through the spring and when the bottom rail is rolled up.

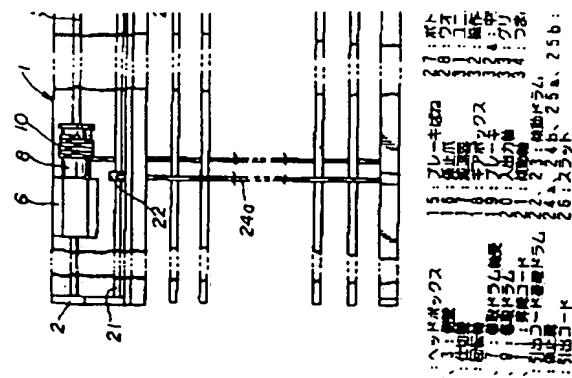
ADVANTAGE - Improves operativeness and safety when blind descends as sudden fall when elevator descends caused by tare wt. is prevented with installation of deceleration mechanism.

Dwg. 1/6

Derwent Class: Q48:

Int Pat Class: E06B-009/308

を減速するようにした減速器17とを備える。好ましくは、引出コード14を貫通させ制動することができるスラット26の傾動操作棒32をヘッドボックス1から下げる。



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-232559

(43)公開日 平成8年(1996)9月10日

(51)Int.Cl.*

E 0 6 B 9/308

識別記号

庁内整理番号

F I

E 0 6 B 9/308

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全5頁)

(21)出願番号 特願平7-35543

(22)出願日 平成7年(1995)2月23日

(71)出願人 000109923

トーソー株式会社

東京都中央区新川1丁目4番9号

(72)発明者 椎名 宣博

東京都中央区新川1丁目4番9号 トーソー株式会社内

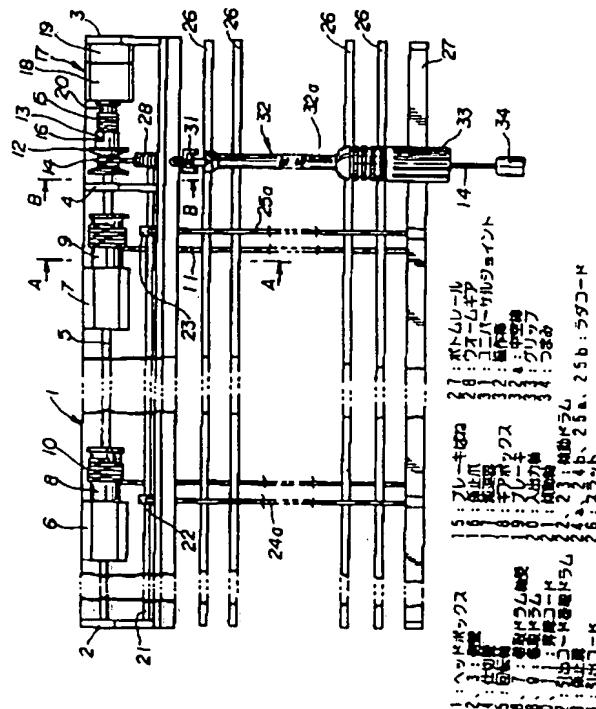
(74)代理人 弁理士 川上 肇

(54)【発明の名称】 ベネシャンブラインドの昇降装置

(57)【要約】

【目的】 ブラインド下降時の操作性と安全性を向上させる。

【構成】 ヘッドボックス1に回転軸5と昇降コード10、11を巻き付ける第1の巻取ドラム8、9とを備え、回転軸5と連動回転する第2の巻取ドラム12と、第2の巻取ドラム12に巻き付けられる引出コード14と、引出コードを制動する制動手段32と、ブレーキばね15を介してブラインド下降時にのみ回転軸5の回転を減速するようにした減速器17とを備える。好ましくは、引出コード14を貫通させ制動することができるスラット26の傾動操作棒32をヘッドボックス1から取り下げる。



5

再び挾持制動され、巻取ドラム8、9の回転は停止する。これにより、ボトムレール27は下降した高さに保持される。このとき、ブレーキばね15は入出力軸20に巻き付いて、巻取ドラム8、9の回転を回転軸5及び引出コード巻取ドラム12を介して減速器17に伝達する一方、減速器17ではギアボックス18が回転数を変化させブレーキ19が回転を制動するので、巻取ドラム8、9の回転は緩やかになる。即ち、減速器17により、ブラインドの自重による急速下降を規制して事故を未然に防止する。

【0014】一方、操作棒32のグリップ33を回転するとウォームギア28を介して傾動軸21が回転し、傾動ドラム22、23の角度が変化してスラット26の傾斜角度を変化させる。なお、本実施例では、引出コード巻取ドラム12を回転軸5と一体回転するコード巻取ドラムにより構成したが、これに代えて上述の昇降コード10、11の巻取ドラム8、9と同様に、引出コード14の巻きピッチと同幅だけ回転軸5上を移動しながら引出コード14を巻き上げ又は巻き下げることができる巻取ドラムを用いて構成してもよい。

【0015】このように、ブラインドを下降させるとボトムレール及びスラットの自重を利用して昇降コードを巻き下げる所以、ブラインドの操作性を著しく向上させることができる。また、減速器によりブラインドの急速下降とそれに伴う事故を未然に防止する。一方、引出コードは1本なので見栄えもよく、さらに引出コードを操作棒の中に通すようにしたので外観上も著しく優れたものにすることができる。

【0016】

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明のベネシャンブラインドの昇降装置において、昇降コードを巻き付ける第1の巻取ドラムと回転軸を介して連動回転する第2の巻取ドラムと、一端が第2の巻取ドラムに巻き付けられる一方ヘッドボックスを貫通して他端がヘッドボックス外に垂下する引出コードと、ヘッドボックスに付設されてボトムレール及びスラットの自重により

6

生ずる引出コードの張力に抗して引出コードを制動する制動手段と、ブラインド下降速度の減速手段とを備えたので、ブラインドを下降させるときボトムレール及びスラットの自重を利用してかつ自重による急落を防止して昇降コードを巻き下げる所以によりブラインドの操作性と安全性を著しく向上させることができると共に、引出コードは1本なので見栄えも優れたものにすることができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

10 【図1】 本発明に係るベネシャンブラインド昇降装置の具体的構成を示す正面図である。

【図2】 図1の切断線A-Aにおける断面側面図である。

【図3】 図1の切断線B-Bにおける断面側面図である。

【図4】 図1のグリップ33の内部構成を示す正面断面図である。

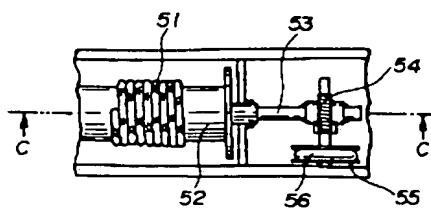
【図5】 従来のベネシャンブラインド昇降装置の構成を示す平面図である。

20 【図6】 図5の昇降装置の部分構成を示す正面図である。

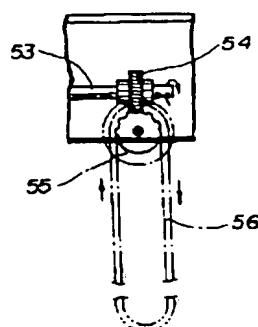
【符号の説明】

ヘッドボックス、2、3 側壁、4 仕切壁、5 回転軸、6、7 巾取ドラム軸受、8、9 巾取ドラム、10、11 昇降コード、12 引出コード巻取ドラム、13 係止溝、14 引出コード、15 ブレーキばね、16 係止爪、17 減速器、18 ギアボックス、19 ブレーキ、20 入出力軸、21 傾動軸、22、23 傾動ドラム、24a、24b、25a、25b ラダコード、26 スラット、27 ボトムレール、28 ウォームギア、29 ウォーム、30 ウォームホイル、31 ユニバーサルジョイント、32 操作棒、32a 中空棒、33 グリップ、34 つまみ、35 円筒体、36 桟体、37 コイルばね、37a ガイド溝、38 ガイドローラ、39 ブラケット

【図5】



【図6】



【図1】

